WS1-5
Virtual-reality navigation を用いた末梢型肺癌変に対する胸腔鏡手術

1 九州大学医学部 医学系 2 九州大学医学部 医学系 3 九州大学医療子循関連病院 胸部外科

【背景】末梢型肺癌変は診断される発見が増加し、その診断・治療には胸腔鏡手術がより適応される。しかし、術中視認機能においては、小病変の同定が困難な場合も多く、術前のレジオナルマッピングや小腸鏡装着など、観察可能な環境を求めるのが现状である。【目的】Virtual reality 技術を応用し、末梢型肺癌変の術中同定を試み、臨床応用が可能か検討した。【方法】術前に 2mm スライスの Multi Detector-Row データ取得し 3D 再構築を行う。2、麻酔導入後、臥位とし、体表面の参照点を用いて CT 空間の位置を実験し、再構築する。3、Augmented Reality ネオビジョン技術により、各部位の画像を胸有肺変の Virtual image と重ね表示し、ナビゲーションを通じて、胸有肺変の低度度有無を術中確認し、3 例で各変化の同定を試みた。【結論】1）肺野 3cm 以下の軽度肺変化 4 例、原発性肺癌 2 例および良性の間質性肺変化 1 例に対し本法を試み、5 例で病変の同定が可能であった。沢田肺変であった 1 例は肺野 3cm、胸痛項より 10mm の病変であった。2）観察間は 30 分〜45 分で、本操作に関するものを含め、特に合併症は認めなかった。【考察・展望】軽度と診断可能な肺変化で、様々な末梢型肺癌変に応用可能と考えられた。

WS1-6
小型肺野変に対するリピドールマッピング

1 首都大学大学院医学系研究科呼吸器外科 2 東京都済生会中央病院

【目的】我々は 1999 年より、肺野末梢側の小肺野変性病変に対して、術前 CT 画像のリピドールによるマッピングを行い、胸腔鏡で部分切除を行う診断を試みたが、今回その方法、結果、合併症を報告する。【方法】1999 年より 2005 年の間に CT イメージリピドールマッピングを行った症例は 176 例において 203 症例である。対象は肺野の小肺野変性病変の、肺野から離れれた病変、GOO 病変である。平均肺野径は 11 ± 6mm (2-35), 肺野の最も低値距離の平均値は 10 ± 0mm (0-58) であった。手術の 1-2 日前に CT 画像で肺野にリピドールを 0.4〜0.5ml 注射し、術中に透過用でマッピングされた肺野に視覚の鮮な付けてみた。術中病理診断に提出した。【結果】全ての腫瘍は切除方法で切除で病理診断を試みた。マッピングによる合併症は、肺野変性を必要とする症例は 23 例 (13%)、ドレナージが必要な気胸が 23 例 (13%)、ドレナージを必要とする気胸が 12 例 (7%)、緊急手術を要した肺野変性が 1 例 (0.6%) であった。同気胸変性は気胸を生じて血胸肺変性を疑ったが、気胸変性が気胸を示して肺野肺変性を示したものが 1 例 (0.6%) である。その他、血腫変性を疑う病理学的所見の有無を含めた。合併症はなかった。なおリピドールは病理診断にはまった影響を与えたかった。【結論】肺野末梢側の小肺野変性病変に対して、术 CT イメージリピドールマッピングは確定かつ安全な方法である。

WS2-1
悪性胸膜中皮腫を巡る諸問題
化学療法の変更とその成績

近畿大学医学部内科学肺癌内科部門

福岡正博

悪性胸膜中皮腫 (MPP) は胸腔を広範囲に浸潤し胸水膵留例が多く、全身化学療法の適応となるものが多くを占めるが、化学療法には抵抗性の腫瘍として知られている。MPP に対する化学療法は、アントラサイクリン系がん剤、プラチナ質剤を始め、マンデラ的な cisplatin, gemcitabine などの薬剤交換剤が検討されている。これら抗がん剤の単剤の効果率は 20% 以下で生存期間を延長する新たな薬剤はないと考えられる。最近投与された prophesia (Alimta) は薬剤代謝において複数の薬剤を ограниけた薬剤で、単剤で 14% の奏効率、10.7 か月の生存期間中央値が示されている。Alimta は薬剤とビメリジン B12 の酸化で毒性が有意に軽減される。併用化学療法はアントラサイクリンあるいはプラチナ質剤をベースとしていることが報告されている。基盤で cisplatin (CDPP) と GM が日常臨床において汎用されているが第Ⅲ相試験の成績に、CDPP と Alimta と CDPF とを比較した第Ⅲ相試験が 448 例を対象に行われ、併用群が効果率 (41% vs 17%; p < 0.001), 生存期間 (12.1 か月 vs 9.3 か月; p < 0.02) において高かった。疼痛、呼吸困難などの症状改善も有意に優れていることが示され、CDPP と Alimta と GM は MPP に対す 前の標準的化学療法となっている。今後においては CT での臨床試験が終了し承認されている。このリピドールは MPP における化学療法の歩みと現状、将来展望について述べる。

WS2-2
Asbestos-related mesothelioma (Asbestoma) について一血液診断を含め

順天堂大学医学部 病理学 教授

中皮腫は、ヒトではアスベストを肺内に吸収することにより発生することが指摘されており、Asbestoma と呼ばれている。昭和20年代の末、肺の透過性肺変性の発症を観察したが、著者の病院（幸）においても、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透過性肺変性の発症を観察した。著者は、肺の透